

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆閉会式にて◆◆◆

「令和最初の運動会、赤も白も全力で戦おう！」というスローガン通りの最高の運動会でした。みんな、感動をありがとう！たった一度の本番のためにたくさん練習して、これで運動会は終わってしまうけれど、皆さんが練習の中で手にした力は、これからいろんな場面で生きていきます。

保護者の皆様、暑い中一杯の応援をありがとうございました。お家に帰りましたら、今日までの練習のことも含めてうんと褒めてあげてください。ご来賓の皆様、地域の皆様、大きな拍手をありがとうございました。今後とも中洲小学校をよろしくお願い致します。

それでは児童の皆さん、明日明後日しっかり休んで、また火曜日に元気で学校に来てくださいね。



【PTA役員の皆様、ご協力に感謝致します】

運動会が無事終わったのは、役員の皆様のご協力もあってからこそです。役員会では運動会の席取り始めテント張りなどの打ち合わせを熱心に行っていただき、前日の準備・当日・片付けと大変お世話になりました。組体操の補助をしていただいたことも含め、前日も当日もオレンジのベストが大変心強く、役員の皆様のご協力にも大変感動した運動会でした。

保護者の皆様も、前日の席取りについてのご協力はじめ、シートがとばないようにするためにペットボトルに水を入れてお持ちいただいたり、使った石はきちんと片付けてくださったりした方が多く、頑張る子ども達のために、保護者の皆様もご協力いただきましたことに、心より感謝申し上げます。

* * * * *

運動会は終わりましたが、「運動会ロス」なんて言っていません！

運動会後片付けをしていた時、ある保護者の方が「我が子が応援団を頑張っている姿に感動しました。」と話してくださいました。運動会は赤白があり、競技種目の勝ち負けやかけっこの順位もついてしまいます。でも、勝てばいい、1位ならえらいというわけではありません。係活動の最後に、応援団の団長さんがまとめとして高学年児童にこんな素晴らしい言葉をかけていました。「白が勝ったけれども、**全力でやったということではどちらも勝ち**だと思います。」相手があるから全力で戦える。友達がいるから全力で頑張れる。あるリレーの1年生は私に「ぼくは運動会のために毎日家の周りを走って練習した。」と教えてくれました。組体操の倒立ができなくて家で毎日練習した5年生。3段の塔がなかなか成功せず、運動会直前にスイッチを入れ直し見事に成功させた6年生。練習の途中にたくさんの過程があったからこそ、たった1度の本番があんなにも素晴らしいものになるんだということ、子ども達が教えてくれました。お家で応援団での頑張りが褒められて、その子はとっても嬉しかったし、次へのエネルギーにもなったことでしょうね。かけっこでいい順位を取れなかった子も、全力で走ったことでは負けではありません。運動会が終わって、頑張った子どもにお父さんやお母さんがかける言葉はとても大事です。その言葉一つが、その後に大きく影響してきます。「頑張って良かった。また頑張ろう！」どの子どもそんな気持ちになった運動会だと嬉しいなど、心から願っております。

子どもが運動会の練習の中で得た、たくさんのか(苦手なことにも挑戦する・粘り強く取り組む・上手になるために進んで練習する・先生に言われなくても自主的に動く・友達と心を合わせる・疲れても最後まで頑張る・そして、全力で戦う・・・etc.)は、これからの学校生活いろんなところで生きていきます。残念ながら当日具合が悪くて休んでしまった児童も練習の中でついた力は同じです。

運動会が終わって、ちょっとさみし気持ちはありますが、そんなことは言っていません。ここからまた一回り成長した子ども達と、どんな学習ができるかとても楽しみです。これからも、全力で頑張る子ども達、そして子ども達の力を最大限に伸ばそうと努力する職員への応援、どうぞよろしくお願い致します！

